



カトリック笹丘教会

教会 ニュース

2013年
10月号

福岡市中央区笹丘1-16-1
☎761-4504 F761-4524
広報委員会

「引きこもり」について

主任司祭 遠山満

先月、福岡市で、「全国引きこもり家族・支援者交流研修会」の全国大会が行われたそうです。今、引きこもりは、社会的な問題となっています。平均年齢は33歳を超え、国の引きこもり支援は、現在39歳までとなっているようですが、40歳以上まで拡大する必要があるのでないかと訴える親の会もあります（西日本新聞2013年10月8日朝刊より）。

私はこれまで、それほど、この問題に関して関心を抱いておりませんでした。考えてみれば、自分自身の中にも、人々から、あるいは社会から引きこもろうとする自分がいます。特に、人間関係で、困難にぶつかった時、人々から引きこもろうとする自分がいます。自分の気持ちは、たとえ説明した所で分かってはもらえないだろうと思ってしまふのです。ですから、引きこもっている人たちの問題は、自分自身の問題でもあると最近思うようになりました。

ところで、聖書の中には、復活したイエス様が、引きこもっている弟子たちに出現されます。そして、仰います。「あなた方に平和があるように。父が私をお遣わしになったように、私もあなた方を遣わす」。そういつてから、彼らに息を吹きかけて言われます。「聖霊を受けなさい」（ヨハネ20・21～22）。聖霊を受けた弟子たちは、これまでのようにユダヤ人を恐れて引きこもることなく、大胆に福音を述べ伝える者となっていきました。私たち一人一人、信仰を持っていても尚、引きこもろうとする弱さがあります。自己嫌悪に陥っている時、私たちは誰の顔も見たくないと言う時があります。誰かに怒っている時も同様です。しかし、そんな時でも、イエス様は言われます。「教会に来なさい」と。「教会に来て聖霊を受けなさい」と。

「全国引きこもり家族・支援者交流研修会」の全国大会が、今年は、福岡でありましたが、来年、被災地で行われることはできないのだろうかと思いました。ご家族も、ご本人たちも、被災地に集まることはできないものかと思いました（もう既に行われたのかもしれませんが…）。被災地で、今、聖霊の風が吹き荒れているのではないかと思います。被災地に行って、苦しんでいる人と出会うことによって、引きこもっている人たちも、出かけて行く為の力を頂くのではないかと思います。引きこもる人は、それぞれ他人には説明できないような苦しみを抱えています。その人たちが、被災した人たちと出会う時、自分の中から出て行く為の力を頂くのではないのでしょうか。

拡大信者会議事内容

日時：2013年10月6日(日)11時半～

場所：信徒会館ホール

1、初めの祈り

2、議題

1)敬老会について(来年に向けての要望など)

※10時のミサで、高齢者、病者の為、病者の塗油が行われたことは良かった。

※出欠の確認を事前に良く取るようにしたい。

2)信徒会館の冷蔵庫の使い方について

※信徒会館の冷蔵庫の中に食品を保存される際の記名のお願い。他の団体が自由に使ってよい場合は、その旨、ご記入頂ければ幸い。

3、報告

1)建設二年目点検について

9月21日(土)13時より、二年点検が行われた。立ち会いは、主任司祭と信者会役員3名。詳細は、見積もりが出てから発表。

2)教会の幟について

9月末日まで、幟のデザインについての公募をしました結果、1件、応募が寄せられた。応募されたデザインを基に、教会の幟を作らせて頂く予定。

3)今後のスケジュール

※信仰年の行事の中で、来る10月12日(土)と13日(日)は「聖母マリアの日」とされており、ローマでは、12日(土)の夜7時から9時半にかけて、「聖母と共に過ごす祈りの夜」が持たれる。これに伴い、世界の10か所の巡礼地とローマとを繋いでロザリオの祈りが捧げられるが、その巡礼地の一つとして、日本の秋田の聖体奉仕会が選ばれ、ローマから参加するようとの呼びかけを菊地司教様が了承。秋田の聖体奉仕会では、ローマの時間に合わせて、13日(日)午前2時から5時にかけてロザリオの祈りが捧げられる。私たち、笹丘教会では、12日(土)午後7時のミサ後、1時間半程度で、「聖母と共に過ごす祈りの夜」を持ちたい。

※10月27日(日)10時ミサ後、典礼委員会が開かれる予定。

※11月4日(月)召命の集い。11月3日(日)の日曜学校が、こちらに振替。教会学校の皆さんは、召命の集いに参加されますように。

※11月23日(土)信仰年閉幕の行事が、10時半より15時にかけて、大名町教会にて行われる予定。どなたでも参加。但し、お弁当は各自持参のこと。

※12月1日(日)ミニバザーの予定。

4、終わりの祈り

次回は、11月3日(日)10時ミサ後の予定。



9月22日 敬老会が開かれました

はい！チーズ

2013. 9. 22 カトリック笹丘教会敬老会



これからも
神様と共に

笑顔と感謝

川上さんのハーモニカの
伴奏で子供たちも一緒に



当日は子供と共に捧げるミサで病者
の塗油の秘跡もありました。



親愛なる子供たちへ (原作詞：不詳／訳詞：角智織 補足詞：樋口了一)

年老いた私が ある日 今までの私と違っていても
どうかそのままの私のことを 理解して欲しい
私が服の上に食べものをこぼしても 靴ひもを結び忘れても
あなたにいろんなことを教えたように 見守って欲しい
あなたと話す時 同じ話を何度も何度も繰り返しても
その結末をどうかさえぎらずに うなずいて欲しい
あなたにせがまれて繰り返し読んだ 絵本のあたたかな結末は いつも同じでも
私の心を平和にしてくれた

悲しいことではないんだ 消えて去っていくように見える
私の心へと 励ましのまなざしを向けて欲しい
楽しいひと時に 私が思わず 下着を濡らしてしまったり
お風呂に入るのを嫌がる時には 思い出して欲しい
あなたを追いかけて 何度も着替えさせたり 様々な理由をつけて
嫌がるあなたとお風呂に入った 懐かしい日のことを

悲しいことではないんだ 旅立ちの前の準備をしている私に
祝福の祈りを捧げて欲しい
いずれ歯も弱り 飲み込むことさえ出来なくなるかもしれない
足も衰えて 立ち上がることすら出来なくなったら
あなたが か弱い足で立ち上がろうと
私に助けを求めたように よろめく私にどうか あなたの手を握らせて欲しい
私の姿を見て悲しんだり 自分が無力だと思わないで欲しい
あなたを抱きしめる力がないのを 知るの辛いことだけ
私を理解して支えてくれる心だけを 持っていて欲しい
きっと それだけで それだけで 私には勇気が湧いてくるのです

あなたの人生の始まりに 私がしっかりと付き添ったように
私の人生の終わりに 少しでも付き添って欲しい
あなたが生まれてくれたことで 私が受けた多くの喜びと
あなたに対する変わらぬ愛を持って 笑顔で応えたい

私の子供たちへ

愛する子供たちへ

日曜学校2013年11月予定表



	11月3日	11月10日	11月17日	11月24日
1年生	休み	子どもミサ 準備	初聖体 準備	初聖体 準備
2.3.4年生	〃	〃	助け合い	天のお父さん のすまい
5.6年生	〃	〃	聖徒の交わり	世界の 助け合い

11月3日（日）は、休みとします。（11月4日に振替）→ 11月4日（月）
カトリック神学院「召命の集い」に参加して下さい！！

編集後記



孫の顔を見に、思いたって東京へ行って来た。

お嫁さんと一緒に、スカイツリー始め、横浜に新しくできたMARK ISという商業施設、学生時代に行ったなつかしの元町、流行りのパンケーキのお店、などなど”女子”ならではの楽しい3日間を一緒に過ごした。

最近ベビーカー論争というものが取りざたされているようだが、今回、子育て真っ最中のお嫁さんと東京や横浜を出歩いてみて、ほんとにこの大都会での赤ちゃん連れの移動は大変だとつくづく思った。

昔に比べたら格段にエレベーターの設置は増えているが、それでも地下鉄駅ホームの上下は何回も乗り換えは必要だし、満員のことも多く必ずしも1回で乗れるとは限らない。階段しかないところでは、片手に赤ちゃん、片手にベビーカーと荷物をエイッ！と抱える。いやはやあの細い体のどこにこんなパワーがあるのかと目を丸くした。

その立場になってみて初めて、身にしみてバリアフリーやユニバーサルデザインの必要性がわかったような気がした。

今は何も考えずに目の前の階段をトントンと上げられる私も、歳をとるにつれ膝が腰が・・・と言うようになり、自分もいつ車椅子の生活になるかわからない。

「赤ちゃん連れの親御さんたちや高齢者が住みやすい」街は全ての人にとって住みやすい街にちがいない。

そういう社会にするために、8%に上がる消費税も使って欲しいものだ。（F.K.）